

まちづくり交付金 事後評価シート
岡崎駅東地区

平成21年12月

愛知県岡崎市

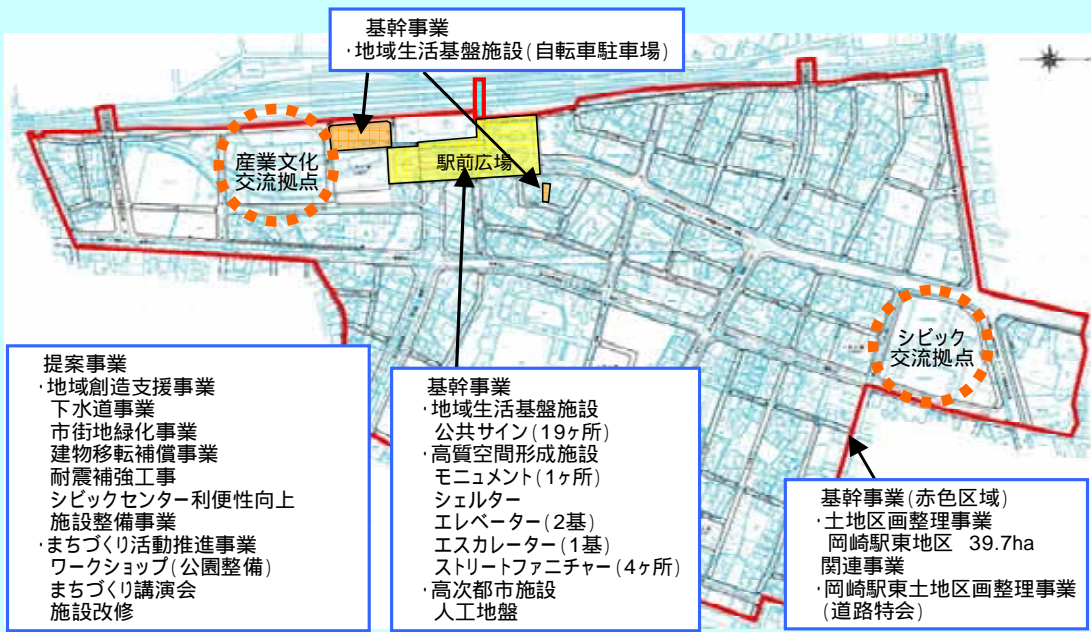
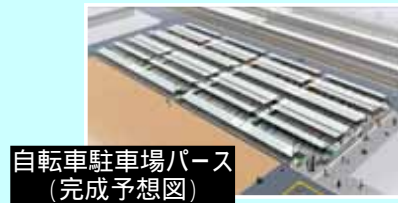
様式2 - 1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛知県		市町村名	岡崎市		地区名	岡崎駅東地区		面積	39.7ha		
交付期間	平成17年度～平成21年度		事後評価実施時期	平成21年度		交付対象事業費	3,464百万円	国費率	0.4			
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名									
			基幹事業	地域生活基盤施設(自転車駐輪場・公共サイン)、高質空間形成施設(モニュメント・ストリートファニチャー・シェルター・エレベーター)、高次都市施設(人工地盤)、土地区画整理事業(岡崎駅東地区)								
	当初計画から削除した事業		提案事業		地域創造支援事業(市街地緑化事業)、まちづくり活動推進事業(公園ワークショップ・まちづくり講演会・施設改修)							
			事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
	新たに追加した事業		基幹事業		公園事業(1号公園・5号公園)	公園整備に係る自転車駐車場整備、シビックセンター利便性向上施設事業の遅延により期間内整備が困難		指標の「にぎわい満足度」に影響はあるが、数値目標は据え置く。				
			提案事業		地域生活基盤施設(多目的広場・ポケットパーク・案内板・情報板)	駅前広場整備基本計画の見直しによる多目的広場の廃止、歩行者重視道路整備遅延によるポケットパークの期間内整備が困難		指標の「にぎわい満足度」に影響はあるが、数値目標は据え置く。				
	交付期間の変更		当初		平成17年度～平成21年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		歩行者支援機能の向上を図るため追加 歩行者支援機能の更なる強化につながった。			
変更			平成 年度～平成 年度									
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数 値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)		予定時期
	指標1	岡崎駅の乗降客数	人/日	29,800	H14	34,300	H21		39,200	あり	土地区画整理事業等の基盤整備による住環境の改善により定住人口が増加し、また駅前広場や自由通路等の駅施設の機能向上が、駅利用者の増加につながった。	平成23年4月
	指標2	にぎわい満足度	%	24	H16	60	H21		57	あり	当初計画していた公園、歩行者重視道路等の整備の遅延により、「にぎわい」空間が不十分となったが、基盤整備による定住人口増加や活発なまちづくりイベント活動により、指標の改善は図られた。	平成22年9月
	指標3	地震による警戒宣言発令時の退避場所への所要時間短縮	分	9	H16	5	H21		5	あり	土地区画整理事業の進捗により公園用地である公共空地が確保され、新たな避難場所により、避難場所への所要短縮時間が改善された。	平成22年4月
指標4	イベント来場者数	人/年	47,700	H15	55,300	H21		55,500	あり	市街地緑化事業や公園ワークショップ、まちづくり講演会などの住民参加のまちづくり活動により、まちづくりへの意識向上が図られ、来場者の増員につながった。また定住人口の増加も来場者の増員に貢献している。	平成22年6月	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数 値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)		予定時期
4) 定性的な効果発現状況	本地区は、市の都心としての役割を担っており、駅周辺の基盤整備の効果は地区内にとどまらず、市全体の発展に寄与している。											
5) 実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング		なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた							
	住民参加プロセス		・公園ワークショップの実施		都市再生整備計画に記載し、実施できた				公園の整備と維持管理について地域住民との調整を図っていく。まちづくり講演会、市街地緑化事業などのまちづくり活動を継続的に実施していく。			
			・まちづくり講演会の実施		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した							
持続的なまちづくり体制の構築		・市街地緑化事業の実施(花のまちづくり活動)		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
		・シビックコア地区まちづくり協議会		都市再生整備計画に記載し、実施できた				市と協働で活動を進めていく。				
		・Plan do おかざき		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
		・出会いの駅おかざき推進協議会		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								

様式2-2 地区の概要

岡崎駅東地区(愛知県岡崎市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
「人のにぎわい」をテーマに、魅力ある都市空間を形成する 目標1 都市の玄関口のシンボリックな空間形成と、安全・快適なアクセス性の向上といった交通結節点機能を強化する 目標2 にぎわいを創出するため、人々が交流する環境空間を形成する 目標3 防災機能の向上のための安心・安全なまちづくりを目指す 目標4 音楽文化振興・にぎわいの創出や地域コミュニティを強化する事業を展開する	岡崎駅の乗降客数	単位:人/日	29,800 H14	34,300 H21	39,200 H21
	にぎわい満足度	単位:%	24 H16	60 H21	57 H21
	地震による警戒宣言発令時の退避場所への所要時間短縮	単位:分	9 H16	5 H21	5 H21
	イベント来場者数	単位:人/年	47,700 H15	55,300 H21	55,500 H21



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業や駅前広場、自由通路などの基盤整備により、交通結節点機能をはじめとする都市機能の強化は図られた。 ・土地区画整理事業や下水道事業、建物移転補償事業などにより、快適な居住環境の形成が進捗した。 ・まちづくり講演会、市街地緑化事業、公園ワークショップなどの住民参加型のまちづくり活動により、地域住民のまちづくりに対する意識の向上、地域コミュニティの強化が図られた。 ・基盤整備により人々の受け皿は確保されたが、人々の憩いとにぎわい空間が不足し、市の都心としてにぎわいある魅力的な都市空間の形成が必要である。 ・土地区画整理事業や下水道事業等の基盤整備を引き続き推進する必要がある。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業や下水道事業等の都市基盤整備を引き続き推進し、都市機能の充実を図る。 ・継続的な住民参加型のまちづくりイベント等の実施により、地域住民のまちづくりに対する意識向上や地域コミュニティの維持・向上を図る。 ・都市基盤整備の進捗による定住人口、流入人口の増加に伴い、公園、ポケットパーク、歩行者支援施設等の整備を推進し、交流空間の形成、快適な歩行空間の形成を図る。 ・公園、ポケットパーク、ストリートファニチャー等の整備により、にぎわいある魅力的な都市空間の形成を図る。 ・商業施設等の立地を誘導し、まちの活性化を図る。

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市のホームページに掲載	平成21年10月15日 ～11月16日	平成21年10月15日 ～11月16日	担当課への ファックス・Eメール・郵便	区画整理課 (まちづくり交付金事後 評価主管課)
広報掲載・回覧・個別配布	市政だよりで現案を公表している旨を掲載	市政だより 平成21年10月15日号	平成21年10月15日 ～11月16日		
説明会・ワークショップ					
その他	市政情報コーナー・担当課窓口における閲覧	平成21年10月15日 ～11月16日	平成21年10月15日 ～11月16日		

住民の意見	<p>駅前広場について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車の導線(通行区分)が複雑で分かりにくい。導線にカラー舗装などして素人にも分かりやすくしてほしい。 ・バス乗り場の待合場所の屋根は小さくて雨を凌げない、日除けにもならない中途半端なもので、外見的なこともあると思うが、実用に耐えるようにしてほしい。 ・上記のように実用を犠牲にしても、外見の美しさを求めて作られているが、バス乗り場全体に目配りしてください。何時までたってもバスの行き先案内板が分かりにくく、かつ仮設のままでは評価のしようがない。
-------	--